

令和4年度第5回士別市教育委員会会議録

1. 日 時 令和4年7月8日(金) 午後2時02分～午後3時31分
2. 会 場 教育委員会 会議室
3. 出席者 教育長 中 峰 寿 彰 生涯学習部長 三 上 正 洋
職務代理者 馬 場 千 晶 学校教育課長 須 藤 友 章
委 員 加 藤 洋 之 合宿の里・スポーツ推進課長
委 員 山 田 敦 久 坂 本 英 樹
委 員 多 田 千 鶴 社会教育課長 武 山 鉄 也

4. 議 件 (発言者、議事要旨及び議決事項)

1 教育長挨拶

ここ数日は猛烈な暑さとなり、急に夏が来たという印象である。先月は雨が続き、今年は北海道も梅雨になったとの報道があったところ。旭川ではペーパン川が豪雨により氾濫し大きな被害が発生したが、近年、剣淵川も河川改修の影響か、水位上昇が著しくなっており、状況によっては被害が発生している状況にある。現在実施している学校経営指導訪問でも、子どもたちの安全を守るための防災教育の大切さも一項目にあげられている。

今月22日は、1学期の終業式を迎えるところであり、授業や行事なども順調に進んでいるが、東京や札幌などでは新型コロナウイルスが再び感染拡大の傾向にある。マスクの着用など基本的な対策は必要である一方で、気温が高くなるとともに熱中症の恐れもある。こうしたなか、昨日は市内の学校にマスクの着用に対する団体からFAXが送られてきた。また、先週には登校中の幼児や女子生徒を誘拐する旨を予告した不審メールが市のメールアドレスに届いた。本市以外には旭川市にも送られていた。こうしたなか、市内全学校に情報伝達し、各学校から保護者にマチコミメール等によって注意を喚起するとともに、予告の日には教員などが学校周辺を巡回するなどして警戒した。何ごとも起こることなく安堵したが、原則的に登下校時は学校の管理下にはないため、今後はCSや自治会などに安全確保のための協力を依頼することも検討したい。

昨日開催された管内教育長会議において、残念な報告があった。すでに報道もされているが、道内小学校の教頭による盗撮や道立高校教諭による殺人事件などの事案も発生しており、改めて注意を促してほしいという内容であったが、子どもたちを指導する教職員に、いちいち指導しなければならないことなのかと常々思っている。

先日来、上川教育局の佐藤義務教育指導監による学校経営指導訪問が行われており、市内各学校を巡回し、様々な指導・助言をいただいている。私と萬城目指導主事も同行しており、各校で工夫をこらして取り組んでいる事案や良い事例を広く共有していきたいと考えている。指導監からは、「どのように活用するのか。無理して使用するものではなく、最終的な目的を見失わないように。」との話もあった。本市ではあくまで学習の道具として適切に活用していく考えであり、各家庭においても指導いただくようお願いしている。

本日もよろしく願います。

2 議事について

○中峰教育長 進行

議案第 13 号 「土別市総合体育館条例施行規則の一部を改正する規則」について説明を求める。

○坂本課長

現在、総合体育館で使用している定期券の様式を変更するものである。これまでは、カーボン紙を使い複写していたが、在庫が切れるタイミングで様式のあり方そのものを見直すこととした。見た目は大きく変わらないが、手書きから PC 処理に変わるなど、効率化が図られる。

○中峰教育長

事務所に控えを残す必要はないのか。

○坂本課長

データとして管理している。

○加藤委員

再発行することはできるのか。

○三上部長

可能である。

○山田委員

定期券は毎月購入する方式か。

○坂本課長

定期券は 3 か月間有効である。スポーツ協会では、期限が満了を迎える前に利用者にアナウンスするなど、一覧表の形で整理している。

○中峰教育長

他にもカーボン紙を使用しているものはあるのか。

○坂本課長

郵便局や宅配業者の送り状などがある。

○山田委員

送り状などは、作業内容から手作業する必要があり、今でも使用されている。

○中峰教育長

農業者トレーニングセンターでは使用していないのか。

○坂本課長

すでに使用していない。

○山田委員

都市部で民間のジムに通うことを考えると、本市の利用料は安いと思う。

3 その他

○武山課長

新型コロナウイルス感染症に伴う社会教育施設・社会体育施設の利用制限等について見直しを図った。国や道の対策についても、場面によってマスク着用の有無など、変化してきている。本市でも、これまで取り組んだ対策によってノウハウが蓄積されてきたところである。見直し案について、庁内の対策本部会議提案し、決定を得たところであり、関係機関等に周知した。

○中峰教育長

制限等について「緩和」という言葉を使うとと緩むイメージがあるので、制限の「見直し」と表現することがベターと感じている。また、但し書きにあるような、不特定多数が集まる利用については、あらか

じめ連絡をもらうなどするべきではないか。活動内容の違いから集まることができない団体もある。各団体の主体性のもとに対策を講じてもらいたい。

○山田委員

今も学校の教職員は定期的にPCR検査をしているのか。

○須藤課長

以前は希望者を対象として毎月PCR検査を行っていたが、現在は実施していない。しかし、職場内で感染者が発生した場合など、検査が必要になった時に備えて体制を整えている。

○中峰教育長

定期的に検査した結果が「陰性」であっても、あくまで検査時点のことであり、意味があるのかという意見もあった。北海道が実施している無料PCR検査も継続されており、本市ではアイン薬局で1日2件程度受付している。名寄ではもう少し多く受付しているようだが、旭川空港で行っている木下グループによるPCR検査は受付件数が多く、本市からも検査を受けに行った例がある。市販の抗原検査キットの結果が「陰性」であっても、現状においては、結局PCR検査を行う必要がある。

○山田委員

最近PCR検査の話題を聞かなくなったと感じている。

○中峰教育長

関心が薄くなっているのは確かである。市立病院に早く結果がでる検査機を導入したが、引続き症状がないと検査することができない。

○三上部長

6月に入り、学校関係の陽性者数は激減した。

○中峰教育長

児童生徒本人は元気だが、家族が時間差で感染した場合だと、何週間も登校できないことになり、学びの補償が問題になる。部活動などで全国大会や全道大会に出場した場合は、おおむね3日は出席停止が基本となっており、それ以外にPCR検査等の結果で短縮するなどの措置をとっている。

○坂本課長

先日はディスタンスチャレンジ士別大会に来場いただき、感謝する。お手元に7月24日に開催するハーフマラソン大会のプログラムと、前日に開催する奥村康先生の講演会のチラシを配付した。ハーフマラソンの申込みは1,721人であり、前回とほぼ同じ規模となった。魅力ある大会づくりをめざすなか、例年より早い8時30分スタートとしたほか、スタート前にはセレモニーとして士別東高校の生徒による宝来太鼓の演奏や士別吹奏楽団によるファンファーレ、士中吹奏楽部の応援演奏も予定している。当日もよろしく願います。

○中峰教育長

上川教育局の義務教育指導監訪問に同行し、改めて学校内の暑さは場所により様々だと感じたが、総じて児童生徒の学習は職員室等と比べて涼しい状況を確認した。また、子どもたちがマスクを外すということに抵抗感があるのか、中には「絶対に外さない」という子もいるとのことだった。環境省と厚生労働省が共同で作成したマスクの着用等に関するリーフレットは、子どもが対象ではなく、全ての年代に向けて作られているものであり、大人・子どもを問わず、状況に応じたマスクの着用などを進めていくことが必要と考えている。

○加藤委員

来週は神社の祭典が挙行されるが、これまでほとんどのイベントが中止となっており、子どもたちは楽しみにしている。一方で露店周辺の見回りなどは行うのか。

○中峰教育長

昨年の状況を見る限り、出店の会場となっている中央公園は密になっている状況でもあり、そうした面でも多少心配な面がある。

○加藤委員

これまでは抑圧された状態であった。ハーフマラソンの会場に出店は出るのか。

○坂本課長

出さないこととした。

○山田委員

地域行事に学校として参加するかどうかの判断は校長が下すのか。

○中峰教育長

まず、主催者が判断した内容を踏まえ、学校として判断する流れとなる。

○加藤委員

官公庁の立場では「実施して良い」と言えない状況にもある。部活動の資金造成を目的としたビールパーティーなども開催できず、活動資金が底をつきかけていると聞いている。

○中峰教育長

鉄くずなどの資源回収を行い、資金を確保している学校もある。

◇当面する今後の日程について

三上部長説明。

午後3時36分 会議の終了を宣した。

この会議は、会議の顛末を記載し、相違ないことを証するため署名する。

署名者

中 峰 寿 彰

会議録調整者

須 藤 友 章